

巻 頭 言



岡山県知事 伊原木 隆太

国際的に活躍できる人材を育てる 岡山県を目指して

岡山県は、南は瀬戸内海に面し、北は中国山地に抱かれた豊かな自然と、「晴れの国」と呼ばれる温暖で過ごしやすい気候に恵まれた暮らしやすく魅力ある地域です。歴史的には、吉備真備が遣唐使として大陸に渡り、朝鮮通信使が備前国の牛窓の地を訪れるなど、古くから国際交流が盛んな地域であり、近年でも、外国人旅行者宿泊者数が5年連続で増加しており、2016年度は過去最高の約22万3千人を記録するなど国際交流が拡大しています。

2016年5月には、本県でG7倉敷教育大臣会合が開催され、「教育の果たすべき新たな役割」や「教育の国際化」などを含む「倉敷宣言」が採択されました。こうした中、2017年度からスタートさせた「新晴れの国おかやま生き生きプラン」の中で、急速なグローバル化の進展や国際競争の激化に対応するため、戦略プログラムの一つとして新たに「グローバル人材育成プログラム」を掲げ、日本人としてのアイデンティティを持ち、豊かな語学力・コミュニケーション能力、チャレンジ精神や異文化を理解する精神を有するグローバル人材の育成を進めることとしています。

グローバル人材の育成に向けた取り組みの一つが、子どもたちの英語力向上の推進です。これは、若いうちにしっかりと語学力やコミュニケーション能力などを身に着けられるようにするもので、高校生を対象にした留学生との交流、英語によるディベート大会などにより、グローバル社会で必要な情報活用力や論理的思考力、英語力等の向上を図っていきます。

もう一つの取り組みが、海外留学の促進です。国際的に活躍できる人材の育成には留学が大変有効であることから、高校生を対象に、留学コーディネーターの配置、海外姉妹校の提携拡大などの留学支援を行っています。また、大学生等を対象に、「トビタテ！留学 JAPAN」の地域人材コースとして、産学官が連携して「おかやま若者グローバルチャレンジ応援事業」を実施しており、これまでに17人の留学を支援しています。さらに、今年度からは、「留学促進フェア in OKAYAMA」を開催し、その中で、留学経験のあるタレントとの対談を通じて、私が留学の意義などを直接伝えることで、留学をより身近なものと考え、積極的なチャレンジに向けた機運を醸成していきます。

こうした施策により、世界で活躍でき、今後の岡山県の成長と発展を担うグローバル人材の育成を積極的に推進してまいります。